



和漢年契

全冊



U7
407



洪
才
子

小
山
田
文
庫

和
漢
未
契

浪
速
書
肆
宣
英
堂
藏

和
漢
未
契

同會
印

同會
印

同會
印

伊
號
卷

叙

歷代史策備矣。和漢一也。然搜索者。或苦乎其浩繁。况和之與漢。欲年月相比較。茫無端緒。於是乎坊刻有和漢合運之編。大有益於搜索。惜其所記多猥屑。事蹟易混淆。太宰德夫。蓋有見于此。而為年表。然亦太簡。可謂矯枉而過直矣。友人蘆屋子病之。積思有年。乃就二書。取捨增減焉。命曰和漢年契。開卷。則和漢之世系年紀。以至春秋以來列國時事。

和漢年契

卷

及僭偽等。歷歷如指諸掌。無復混淆之惑矣。厥用心。不亦偉乎。且夫八音之器。必徵律於細管。千斛之舶。必取給於小舳。故雖檢乎歷史者。由是書而推焉。則庶乎其省搜索之勞矣。

寬政八年丙辰冬十月

合發之議人

其書繁於味之津國於三村其原



凡例

凡例

一此書每板六十年。而干支相配焉。所以便檢閱也。

一我邦天七地五之時。與彼之三皇五帝。至周幽王。則不相配。干支以鴻荒之世。年紀邈遠。不可的知也。

一編首別出和漢帝王系圖。及索引。年號索引等。皆以備急索也。

一和漢帝王之諱字世系。及事繁而不能載者。和則錄於上層。漢則錄於下層。但如東周之世。三國之時。下層狹隘。不可得而錄焉者。皆別贅于界行之外。如孔子年表亦然。一我邦文治中武府創立。故為絲欄以別之。一我邦無僭偽。彼則有僭偽。而別立年號。紊錯難於搜索。故為絲欄。盡舉各主年紀。靡所遺矣。

一我邦年號。孝德帝之時。大化為始。見于正史。後世無異議。故此書亦沿之。而不敢違矣。然予又嘗檢舊記。大化之前。猶有年號。蓋昉於孝靈帝之時。其後或斷或不斷。以接大化也。竊疑是當時苟且所為。而未徧布告天下。邪史編何無徵也。且其年號往往奇僻難可据信。而百世之下。又不可臆斷其無也。因今且並舉。以告好古之士如左。

○孝靈帝 列滴

○應神帝 璽至

○繼體帝 善記 四年終 正和 五年終 定和 七年終 常色 八年終

○宣和帝 僧聽 四年終 教知 五年終 自四年至五年係安閑帝之時

○欽明帝 師安 一年終 大長 三年終 法清 四年終 清 一作靖

和漢金表

兄弟和 年終 作兄弟 明要 三年終 或云十二年

藏知 一年終 知僧 一年終 或云七年

貴樂 十八年終 或云二年 金光 六年終 或云四年

敏達帝 賢輔 五年終 輔 一作樓 又作博 鏡常 四年終 鏡 一作鍾

照勝 四年終 一作勝 照

用明帝 和重 二年終

崇峻帝 端政 五年終

推古帝 告貴 十年終 按一說推古元年為喜樂二年為

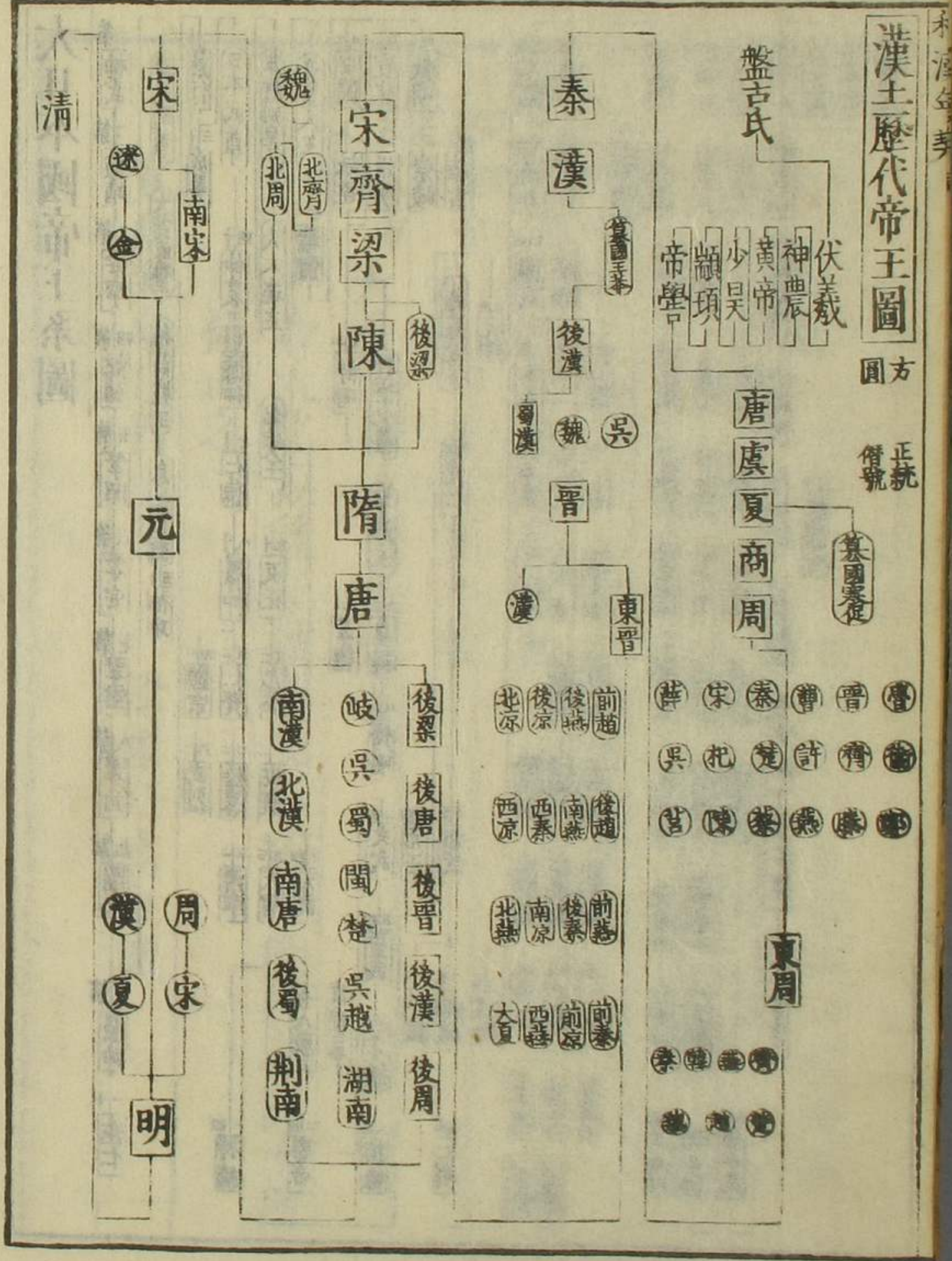
願轉 四年終 光元 六年終 一作弘元 又曰光元

和京 五年終 一作和景繩 按和京元年又為定

三年號亦互相行也耳

口葉手尺

漢土歷代帝王圖



和漢歷代帝王索引

A detailed index table listing Chinese emperors and their reigns, organized by dynasty (Han, Tang, Song, Yuan, Ming) and including specific names like 孝元, 欽明, 文德, etc.

和漢年契

Grid of Chinese dynastic reigns with columns for reign names and corresponding numbers, including Han, Jin, Song, Yuan, Ming, and Qing dynasties.

和漢年契

攝陽盧屋山人著

Table of historical events and legends, organized into columns with headers like '天日本天神' and '唐三皇'. Includes text such as '天皇伏義氏' and '伏羲氏母居華胥之渚'.

和漢年契

天皇伏義氏

第五處火出見尊
第五處火出見尊不合尊

五帝 少昊金天氏 以鳥紀官 作大淵	顓頊高陽氏 命五官 命重黎 治神人 制九州 改曆象 以建寅 月為歷元 作承	帝學高辛氏 作六英樂	帝堯陶唐氏 作歷象 以授民 時巡狩 方歲 帝遊於康衢 觀於華 命鯀治水	八體八元 舜流	四凶族 舜納於大麓 乃使禹平水土 監掌火 棄教民 播種 契為司徒 敷土教 舜受終於文祖 制五刑 作大章樂 禹治水成功 因定九州 貢賦 舜十有二	帝舜黃帝八代孫 生於姚墟 故姓姚 受堯禪 以承德 王都蒲阪 在位六十載 帝子商均不 定有於是命禹 攝政 終師禹受命 之功 考功注 作御雲 于神宗廟	夏代禹 有八天禹 姓受舜禪 以金德 王改載曰 歲都安邑 在位二十 七載 元歲以五音聽治 四	太康 禹子在位九載	仲康 禹子在位二十九年	仲康 禹子在位十三載	相 仲康子在位二十八載 ○壬寅二十有八歲 寒浞殺王於帝 丘右 摎歸於有仍 氏 有仍 少康相子在位二十二年 ○癸未 浞偪位在位四十二年 ○庚申 有夏前後在位六十二年	少康 甲子二十二歲 少康自有仍奔虞	壬午四十四歲 夏還巨靡與帥討寒浞 秋誅毒王踐天子位 王命誅澆及豷 復禹舊績 夏道復與	杼 少康子在位十七歲 杼在位十七歲 杼在位二十六年	芒 杼子在位十八歲 芒在位十八歲 芒在位十六
----------------------------	---	---------------	--	------------	---	---	--	--------------	----------------	---------------	---	-------------------------	---	------------------------------------	---------------------------------

爪其不笑

杼在位十七歲
杼在位二十六年
芒在位十八歲
芒在位十六

帝舜有虞氏 立誹謗 木道五絃 舜姚受堯禪 以承德 王都蒲阪 在位六十載 帝子商均不 定有於是命禹 攝政 終師禹受命 之功 考功注 作御雲 于神宗廟	夏代禹 有八天禹 姓受舜禪 以金德 王改載曰 歲都安邑 在位二十 七載 元歲以五音聽治 四	太康 禹子在位九載	仲康 禹子在位二十九年	仲康 禹子在位十三載	相 仲康子在位二十八載 ○壬寅二十有八歲 寒浞殺王於帝 丘右 摎歸於有仍 氏 有仍 少康相子在位二十二年 ○癸未 浞偪位在位四十二年 ○庚申 有夏前後在位六十二年	少康 甲子二十二歲 少康自有仍奔虞	壬午四十四歲 夏還巨靡與帥討寒浞 秋誅毒王踐天子位 王命誅澆及豷 復禹舊績 夏道復與	杼 少康子在位十七歲 杼在位十七歲 杼在位二十六年	芒 杼子在位十八歲 芒在位十八歲 芒在位十六
---	--	--------------	----------------	---------------	---	-------------------------	---	------------------------------------	---------------------------------

師陳於商郊商帥師火德王政祀日年在侯位十三 會戰於牧野商師潰年王位七年○庚辰十四年王 受及應臺自燔死 武王即位國号周以 建子月為歲首復商 舊政 迁都於鎬 作大武樂	成王 成王名誦武王子在位二十七 年○元年周公旦相王踐阼而 治 命周公元子伯禽代就封 於魯	周公於東 辛卯六年越裳氏來朝 甲午九年封弟叔虞為唐 侯	成王 成王名釗成王子在位二十六 年	康王 康王名瓘康王子在位五十二 年	昭王 昭王名瑕康王子在位五十二 年	穆王 穆王名滿昭王子在位五十五 年	共王 共王名辟康王子在位二十 五年	懿王 懿王名囂共王子在位二十 五年	夷王 夷王名囂共王子在位二十 五年	厲王 厲王名胡夷王子在位 十六年	宣王 宣王名辟厲王子在位 二十六年	幽王 幽王名宮厲王子在位 十一年	魯備晉鄭曹蔡燕齊陳宋楚秦
--	--	--------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	------------------------	--------------

大日本

日本 辛未 壬申 癸酉 甲戌 乙亥 丙子 丁丑 戊寅 己卯 庚辰 辛巳 壬午 癸未 甲申 乙酉 丙戌 丁亥 戊子 己丑 庚寅 辛卯 壬辰 癸巳

漢上

東周 元平王名宜自王公 初稱突為 惠公	魯備晉鄭曹蔡燕齊陳宋楚秦	宣王	幽王	厲王	夷王	懿王	共王	昭王	穆王	康王	成王	周公於東	辛卯六年越裳氏來朝	甲午九年封弟叔虞為唐	侯	成王	成王名誦武王子在位二十七 年○元年周公旦相王踐阼而 治 命周公元子伯禽代就封 於魯	康王	康王名瓘康王子在位五十二 年	昭王	昭王名瑕康王子在位五十二 年	穆王	穆王名滿昭王子在位五十五 年	共王	共王名辟康王子在位二十 五年	懿王	懿王名囂共王子在位二十 五年	夷王	夷王名囂共王子在位二十 五年	厲王	厲王名胡夷王子在位 十六年	宣王	宣王名辟厲王子在位 二十六年	幽王	幽王名宮厲王子在位 十一年
------------------------------	--------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------	-----------	------------	---	----	--	----	-------------------	----	-------------------	----	-------------------	----	-------------------	----	-------------------	----	-------------------	----	------------------	----	-------------------	----	------------------

今文... 推... 為... 入... 子... 月... 年...

子... 鄭... 志... 名... 子... 鄭... 志... 名...

子... 關... 惠... 王... 名... 子... 關... 惠... 王... 名...

八神鎮護國者

皇... 巡... 幸... 登... 殿... 上... 曠... 間... 丘... 望... 地... 形... 猶... 如... 蜻... 蛉... 之... 聲... 占... 焉... 秋... 津... 洲... 之... 号... 始... 于... 此... 蜻... 蛉... 秋... 津... 洲... 音... 相...

Table with columns for years (甲子, 乙丑, etc.), events (祭皇祖天神于鳥見山), and other details.

八神鎮護國者

神武... 彦... 火... 出... 見... 小... 名... 狹... 野... 彦... 波... 武... 鸚... 鵒... 草... 菅... 不... 合... 尊... 第... 四... 子... 母... 曰... 王... 依... 姬... 以... 庚... 午... 歲... 生... 而... 明... 達... 意... 確... 如... 也... 年... 一... 力... 立... 為... 皇... 太... 子... 及... 長... 幼... 吉... 平... 津... 媛... 為... 妃... 甲... 寅... 歲... 天... 皇... 四... 十... 五... 歲... 在... 日... 向... 高... 千... 穗... 宮... 元... 年... 正... 月... 朔... 即... 天... 皇... 位... 於... 攝... 原... 辛... 酉... 元... 年... 神... 武... 天... 皇... 取... 位... 元... 年... 定... 功... 行... 賞... 天... 皇... 立... 正... 妃... 皇... 后... 建... 神... 祿... 祭... 癸... 亥... 三...

Table with columns for years (甲子, 乙丑, etc.), events (神武帝起師于西, 神武天皇即位元年), and other details.

元王名
仁敬王
貞定王
名介元
王子

孝昭懿德天皇子母天豐津媛
皇后元年丙寅正月即位是為
親松彦香殖稻天皇七月遷都
於掖上謂之池心宮

甲子三四九月天皇崩
乙丑

癸巳	壬辰	辛卯	庚寅	己丑	戊子	丁亥	丙戌	乙酉	甲申	癸未	壬午	辛巳	庚辰	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲戌	癸酉	壬申	辛未	庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑	甲子																			
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十

癸巳	壬辰	辛卯	庚寅	己丑	戊子	丁亥	丙戌	乙酉	甲申	癸未	壬午	辛巳	庚辰	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲戌	癸酉	壬申	辛未	庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑	甲子																			
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十

顯王名
喜安王
子

顯王名
扁烈王
弟

甲午六	乙未七	丙申八	丁酉九	戊戌十	巳亥十一	庚子十二	辛丑十三	壬寅十四	癸卯十五	甲辰十六	乙巳十七	丙午十八	丁未十九	戊申二十	巳酉二十一	庚戌二十二	辛亥二十三	壬子二十四	癸丑二十五	甲寅二十六	乙卯二十七	丙辰二十八	丁巳二十九	戊午三十	巳未三十一	庚申三十二	辛酉三十三	壬戌三十四	癸亥三十五	
十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五
顯王	韓統其君	齊侯來朝	列王	三	二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五
立押媛為皇后																														

大日本史曰葬孝昭帝不應修
延至此舊事記為元年己丑八
月葬疑當為是然上世遠迹不
可得而知今據本書不輒改焉

甲子三十六	乙丑三十七	丙寅三十八	丁卯三十九	戊辰四十	巳巳四十一	庚午四十二	辛未四十三	壬申四十四	癸酉四十五	甲戌四十六	乙亥四十七	丙子四十八	丁丑四十九	戊寅五十	巳卯五十一	庚辰五十二	辛巳五十三	壬午五十四	癸未五十五	甲申五十六	乙酉五十七	丙戌五十八	丁亥五十九	巳丑六十	庚寅六十一	辛卯六十二	壬辰六十三	癸巳六十四	甲午六十五
十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一
十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五
丙寅三月	丁卯三月	戊辰三月	巳巳三月	庚午三月	辛未三月	壬申三月	癸酉三月	甲戌三月	乙亥三月	丙子三月	丁丑三月	戊寅三月	巳卯三月	庚辰三月	辛巳三月	壬午三月	癸未三月	甲申三月	乙酉三月	丙戌三月	丁亥三月	巳丑三月	庚寅三月	辛卯三月	壬辰三月	癸巳三月	甲午三月	乙未三月	丙申三月

順親王
名定顯

報王名
延慎親
王子

甲午 六六	乙未 六七	丙申 六八	丁酉 六九	戊戌 七十	巳亥 七一	庚子 七二	辛丑 七三	壬寅 七四	癸卯 七五	甲辰 七六	乙巳 七七	丙午 七八	丁未 七九	戊申 八十	巳酉 八一	庚戌 八二	辛亥 八三	壬子 八四	癸丑 八五	甲寅 八六	乙卯 八七	丙辰 八八	丁巳 八九	戊午 九〇	巳未 九一	庚申 九二	辛酉 九三	壬戌 九四	癸亥 九五
四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一
順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元

合侯卒泰事衡燕齊望康使年〇二眞名順
從復諸君春以運選韓說張泰四子親延王

九月葬王于丘上陵
孝靈安天皇皇子母押媛皇后
元年正月即位是為大日本根
皇太子太皇太后遷都於黑田謂之
應神宮
本朝通鑑云五年近江國地圻
湖水港而富士山出

甲子 九六	乙丑 九七	丙寅 九八	丁卯 九九	戊辰 百〇	巳巳 百一	庚午 百二	辛未 百三	壬申 百四	癸酉 百五	甲戌 百六	乙亥 百七	丙子 百八	丁丑 百九	戊寅 百〇	巳卯 百一	庚辰 百二	辛巳 百三	壬午 百四	癸未 百五	甲申 百六	乙酉 百七	丙戌 百八	丁亥 百九	巳子 百〇	庚丑 百一	辛寅 百二	壬卯 百三	癸辰 百四	甲巳 百五
十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七
順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王	順親王
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元

其子立君之而子

開元 孝元天皇第二子也。母
色談皇后。元帝五十七年
一月十二日即位。是為推古
根子彦。大日天皇元年十月
十三日。遷都春日。謂之率川宮。

甲子三六	乙丑三九	丙寅四一	丁卯四二	戊辰四三	巳巳四四	庚午四五	辛未四六	壬申四七	癸酉四八	甲戌四九	乙亥五〇	丙子五一	丁丑五二	戊寅五三	巳卯五四	庚辰五五	辛巳五六	壬午五七	癸未五八
										開元天皇									
										九月天皇崩									
										立伊香色談命為皇后									

元	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
元	八月以神代之為社尉	正月高后崩	二月高后崩	三月高后崩	四月高后崩	五月高后崩	六月高后崩	七月高后崩	八月高后崩	九月高后崩	十月高后崩	十一月高后崩	十二月高后崩	正月高后崩	二月高后崩	三月高后崩	四月高后崩	五月高后崩	六月高后崩	七月高后崩

右丞相 正月立子為皇太子
三月立實氏為皇后
定振鷲卷卷之令 四月令
方母來獻 八月右丞相執
十一月晦日食詔奉貢○二年
十二月除誹謗妖言法 九
田 五月除誹謗妖言法 九
月賜天下今年田租之半○三
年淮南王殺害食其 句以寇
灌嬰敗之於大原 濟北王與
居反誅之○四年下周勃延尉
獄而赦之○十二年詔民入
粟得拜爵免罪河水決 除
閔○十三年具親耕桑禮儀○
六年大旱蝗蝻蝻食粟以振
民

甲子三八	乙丑三九	丙寅四一	丁卯四二	戊辰四三	巳巳四四	庚午四五	辛未四六	壬申四七	癸酉四八	甲戌四九	乙亥五〇	丙子五一	丁丑五二	戊寅五三	巳卯五四	庚辰五五	辛巳五六	壬午五七	癸未五八
										開元天皇									

元	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
元	八月以神代之為社尉	正月高后崩	二月高后崩	三月高后崩	四月高后崩	五月高后崩	六月高后崩	七月高后崩	八月高后崩	九月高后崩	十月高后崩	十一月高后崩	十二月高后崩	正月高后崩	二月高后崩	三月高后崩	四月高后崩	五月高后崩	六月高后崩	七月高后崩

高后諱雉字娥姁臨朝稱制
元年十一月以王後高后太傅
陳平為右丞相食其為左丞
相 右立兒子台產及台子
通四人為王封諸呂六人為列
侯
諸大臣迎立代王恒
文帝諱恒高后中子母薄姬○
元年以陳平為左丞相周勃為

Table with columns for years (甲午, 乙未, 丙申, etc.), events (e.g., 遷都於磯城寺瑞籬宮, 帝始為微行遊起上林苑), and other details.

十月葬春日率川坂本陵
崇神開化天皇第二子母伊香色
皇太后元年春正月即位是乙酉
為御間城入彥五十瓊瓊杵天
皇○六丁亥四
二月立御間城姬為皇后○六
年己丑建天照祠于和州笠縫
邑

Table with columns for years (甲子, 乙丑, 丙寅, etc.), events (e.g., 始置將軍於四道平遠夷, 帝東巡琅邪海而還), and other details.

甲午十一	乙未十二	丙申十三	丁酉十四	戊戌十五	己亥十六	庚子十七	辛丑十八	壬寅十九	癸卯二十	甲辰二十一	乙巳二十二	丙午二十三	丁未二十四	戊申二十五	己酉二十六	庚戌二十七	辛亥二十八	壬子二十九	癸丑三十	甲寅三十一	乙卯三十二	丙辰三十三	丁巳三十四	戊午三十五	己未三十六	庚申三十七	辛酉三十八	壬戌三十九	癸亥四十																			
一 立弗陵為太子 帝崩	二 始元 昭帝 金日磾卒	三 除今年田租	四 立婕妤上官氏為皇后	五 男子詐稱太子伏誅	六 蘇武還自匈奴為典屬國	元 厚長公主燕王且謀反自殺	二 泰山石立上林博奕復起生	四 誘樓蘭王殺之	五 元平四月帝崩	本始元帝 名黃霸為廷尉正	二 代匈奴 田延年有罪自殺	三 霍光妻顯殺皇后許氏	四 以夏候勝為諫大夫	二 霍光卒賜葬具擬乘輿制	三 立子顯為太子	四 霍光謀反伏誅廢霍皇后	元 康 而成改車國反擊平之	二 立婕妤王氏為皇后	三 封丙吉等為列侯	四 張安世卒	二 霍光先妻范氏廢充國擊之	三 蓋寬饒自剄北闕下	四 魏相卒以丙吉為丞相	二 河南太守嚴延年弃市	五 鳳殺左馮翊馮遂	二 免楊敞為庶	三 丙吉卒以黃霸為丞相	四 殺楊惲 始置常平倉	二 甘露以韋玄成為淮陽中尉	三 趙充國卒 珠崖反	四 匈奴西單于復遣使朝獻	黃龍十一月帝崩	二 初元 元帝 立婕妤王氏為后	三 蕭望之自殺	四 罷珠崖郡	五 郊祭時	二 永光上耐祭宗廟	三 罷西羌反	四 張猛自殺	五 河決	二 建昭 昭帝 太后廢祠廟	三 殺魏郡太守京房	四 陳湯殺匈奴支單于	五 復諸侯廟園	二 建始 成帝 四月黃霸為丞相	三 匡衡有罪免為庶人	四 罷官置尚書 河水決	二 河平 成死刑省律令
昭帝 諱弗陵 武帝少子 母趙婕妤 行 元年 燕王且謀反 赦不治 嘗與皆伏誅 以篤不疑為京兆尹 四年 西南夷反 六年 詔問賢良文學 民所疾苦 罷推諫官 元鳳 元武都氏反 三年 徐仁自殺 賜新廷尉王平 元平元年 帝崩 大將軍光承皇后 詔 迎昌邑王賀詣長安 六月 入即位 昌邑王有罪 大將軍光率群臣奏太后廢之 七月 迎武帝曾孫病已入即位 十一月 立皇后許氏	宣帝 初名病已 更名詢 武帝曾孫 母曰王夫人 元平 霍光請歸政不受 鳳凰集膠東 赦 武帝廟為世宗 丙午 郡國皆立廟 四年 立霍光女為皇后 地節 三年 賜膠東相王咸爵關內侯 置廷尉平 元康元年 殺京兆尹趙廣漢 以蕭望之為平原太守 復徵入守少府 以尹翁歸為右扶風 二年 匈奴擾車師 田吉詔 詔吉還屯渠犂 三年 疏廣疏受請老 還京兆尹 尋罷歸故官 神爵元年 諫大夫王吉 謝病歸 甘露三年 呼韓邪單于入朝 詔諸																																															

儒講五經異同於石渠閣

甲子四一	乙丑四二	丙寅四三	丁卯四四	戊辰四五	己巳四六	庚午四七	辛未四八	壬申四九	癸酉五十	甲戌五一	乙亥五二	丙子五三	丁丑五四	戊寅五五	己卯五六	庚辰五七	辛巳五八	壬午五九	癸未六十	甲申六一	乙酉六二	丙戌六三	丁亥六四	戊子六五	己丑六六	庚寅六七	辛卯六八	壬辰六九	癸巳七十				
一 五鳳 殺左馮翊馮遂	二 免楊敞為庶	三 丙吉卒 以黃霸為丞相	四 殺楊惲 始置常平倉	二 甘露 以韋玄成為淮陽中尉	三 趙充國卒 珠崖反	四 匈奴西單于復遣使朝獻	黃龍十一月帝崩	二 初元 元帝 立婕妤王氏為后	三 蕭望之自殺	四 罷珠崖郡	五 郊祭時	二 永光 上耐祭宗廟	三 罷西羌反	四 張猛自殺	五 河決	二 建昭 昭帝 太后廢祠廟	三 殺魏郡太守京房	四 陳湯殺匈奴支單于	五 復諸侯廟園	二 建始 成帝 四月黃霸為丞相	三 匡衡有罪免為庶人	四 罷官置尚書 河水決	二 河平 成死刑省律令	明年冬十月 葬山邊道上陵	壬辰 元 垂仁天皇	辛卯 六八 十二月天皇崩	庚寅 六七	己丑 六六	戊子 六五 任那國始入貢	丁亥 六四	丙戌 六三 詔開池溝勸農事	乙酉 六二	甲申 六一
元帝 諱彥 宣帝太子 母曰共哀 許皇后 初元 元年 以貢禹為諫大夫 罷宮館希幸 若減殺食馬肉 食飲 永光 二年 罷西羌 反 馮奉世擊破之 四年 罷祖宗廟 在郡國者 作初陵 五年 毀惠帝寢廟園 建昭 二年 下御史中丞陳咸為城旦 意尊元年 嫁宮人王嬙于匈奴 封甘延壽為我成侯 賜陳湯爵關內侯 帝崩太子 驁即位 以元舅王鳳為大司馬 大將軍 獲尚書事	成帝 諱豐 元帝太子 母曰王皇后 建始 元年 石顯以罪免 歸故郡 道死 四年 四月 雨雪 召直言極諫之士 詣白虎殿 對策 鴻嘉 三年 王氏五侯有罪 諸																																

明年冬十月葬山邊道上陵
壬辰 元 垂仁天皇
辛卯 六八 十二月天皇崩
庚寅 六七
己丑 六六
戊子 六五 任那國始入貢
丁亥 六四
丙戌 六三 詔開池溝勸農事
乙酉 六二
甲申 六一

壬辰 元 垂仁天皇
辛卯 六八 十二月天皇崩
庚寅 六七
己丑 六六
戊子 六五 任那國始入貢
丁亥 六四
丙戌 六三 詔開池溝勸農事
乙酉 六二
甲申 六一

明年冬十月葬山邊道上陵
壬辰 元 垂仁天皇
辛卯 六八 十二月天皇崩
庚寅 六七
己丑 六六
戊子 六五 任那國始入貢
丁亥 六四
丙戌 六三 詔開池溝勸農事
乙酉 六二
甲申 六一

為活日入彗五十狹茅天皇冬
二年春二月立狹穗姬為皇后
○六年秋七月名當麻人蹶速
出雲人野見高祢令角力

甲午三 新羅王之子焮化獻室物
乙未四 皇后兄狹穗彥謀反
丙申五 狹穗彥伏誅皇后死城中
丁酉六
戊戌七
己亥八
庚子九
辛丑十
壬寅十一
癸卯十二
甲辰十三
乙巳十四
丙午十五 立日葉酢姬為皇后
丁未十六
戊申十七
己酉十八
庚戌十九
辛亥二十
壬子二十一
癸丑二十二
甲寅二十三 豐津別皇子歲三始有言
乙卯二十四
丙辰二十五
丁巳二十六
戊午二十七 以兵器祭神
己未二十八 詔廢殉死
庚申二十九
辛酉三十
壬戌三十一
癸亥三十二 立大足彥尊為皇太子
皇太后葬始以棺輪葬

一 悉封諸舅為列侯
二 詔求遺書
三 匈奴單于入朝
四 下京兆尹王章劾奏之
以王章為御史大夫
五 大將軍王鳳卒
六 以王鳳為京兆尹
七 馮異相張禹免薛宣為丞相
八 飛雉集未央宮水明殿
九 廢許皇后 却病作亂
十 河水溢
十一 永始太后弟王鳳為新都侯
十二 張敖左北地都尉
十三 鐵官蘇全等伏誅盡誅之
十四 以何武為京兆尹
十五 元延王高卒王根為驃騎將軍
十六 大司農谷永也
十七 鉞和王根以病免為大司馬
十八 丞相王根進卒 三月帝崩
十九 建平哀帝 以朱博為大司馬
二十 孔光為丞相朱博為丞相
二十一 丞相王鳳卒王嘉為丞相
二十二 王尚書僕射鄭崇被殺
二十三 王嘉以董賢為大司馬備將軍
二十四 六月帝崩時董賢有罪自殺
二十五 元平帝 王莽字安漢公
二十六 魏鴻都 黃龍 江中
二十七 魏王莽女為皇后 莽篡
二十八 關謝罪帝赦不誅 永始元年
二十九 諫大夫劉輔 獄為鬼新論
三十 立使行趙氏為皇后 二年星
三十一 隕如雨 免丞相薛宣以星方
三十二 進為丞相免關內侯陳湯為庶
三十三 人 三年復泰時分陰五時陳
三十四 寶琦 故南昌尉梅福上書不
三十五 報 四年有司奏梁王有罪罷
三十六 不沽 元延九年有星東井
三十七 故槐里令朱雲言事得罪既
三十八 而釋之 綏和元年立定陶王
三十九 欣為皇太子 廢后許氏自殺
四十 進諸王爵為公 建三公官
四十一 何武為大司空 詔立辟雍米
四十二 作而罷 二年罷大司馬莽就
四十三 第以郵丹為大司馬

甲子三三
乙丑三四 辛山背
丙寅三五 令諸國開地清勳
丁卯三六
戊辰三七
己巳三八
庚午三九 五十瓊敷命作勳一千口
辛未四十
壬申四一
癸酉四二
甲戌四三
乙亥四四
丙子四五
丁丑四六
戊寅四七
己卯四八
庚辰四九
辛巳五十
壬午五一
癸未五二
甲申五三
乙酉五四
丙戌五五
丁亥五六
戊子五七
己丑五八
庚寅五九
辛卯六〇
壬辰六一
癸巳六二

一 如安漢公莽字安漢
二 加安漢公莽九錫 莽篡
三 居攝于魏 莽稱假皇帝
四 莽殺廷尉 莽不克死
五 莽廢皇后 建國
六 廢諸侯王
七 殺劉棻等
八 天鳳
九 天鳳起兵
十 五
十一 楊雄死
十二 地皇
十三 二
十四 三
十五 更始淮陽王
十六 建武光武皇帝 昭即皇帝位
十七 帝崩入長安
十八 帝崩自稱燕王
十九 以侯霸為尚書令
二十 魏異遣子入侍
二十一 馮異入朝 魏器反
二十二 冬以社詩為南陽太守
二十三 公孫述遣兵 魏器
二十四 魏器死 諸將立其子純
二十五 二年封諸功臣為列侯立宗廟
二十六 淮陽王 諱玄 景帝子長沙王之
二十七 後在位二年 降於赤眉 被殺
二十八 東漢姓 劉氏 都洛陽 亦以火德
二十九 王几十二君 得年一百九十六
三十 光武諱秀 字文叔 高祖九世孫
三十一 建武元年 赤眉以劉盆子稱
三十二 帝 亦眉入長安 立赤眉高陵
三十三 帝封玄為淮陽王 尊降赤眉 被
三十四 殺 以阜茂為太傅 封侯 德族
三十五 朱鮪以洛陽降 帝入都之 〇
三十六 二年封諸功臣為列侯立宗廟

大日本史曰八十六年遣使於
漢按後漢書曰建武中元二年
倭國奉貢使人自稱大夫正與
此合然本書無所見恐非朝廷
所命也

甲午六三	十一 夏陽漢吳王封軍
乙未六四	十二 以郭伋為并州牧
丙申六五	十三 賈詡及五郡太守朝漢
丁酉六六	十四 詔太官勿受郡國異味
戊戌六七	十五 詔州郡檢覆籍戶口
己亥六八	十六 行五鈔錢 交趾女主反
庚子六九	十七 帝如章陵 廢皇后郭氏
辛丑七十	十八 帝往河東祠后土史歆反
壬寅七一	十九 賜雒陽令董宜錢三十萬
癸卯七二	二十 以郭况為大鴻臚吳漢卒
甲辰七三	二十一 西域諸國遣使請都護許
乙巳七四	二十二 以耿種為光祿勳
丙午七五	二十三 武陵蠻反 朱社卒
丁未七六	二十四 馮異遣兵討武陵蠻
戊申七七	二十五 漢伏波將軍馬援卒于軍
己酉七八	二十六 初作壽陵
庚戌七九	二十七 北匈奴和親不許
辛亥八十	二十八 遣諸王就國
壬子八一	二十九
癸丑八二	三十 帝東遊 賈復卒
甲寅八三	三十一 帝東巡封泰山梓梁陰
乙卯八四	三十二 二月帝崩太子承即位
丙辰八五	三十三 冬十一月行卷地禮
丁巳八六	三十四 帝葬 東海王疆卒
戊午八七	三十五 春明帝 東海王疆卒
己未八八	三十六 二月帝崩太子承即位
庚申八九	三十七 二月 承即位
辛酉九〇	三十八 二月 承即位
壬戌九一	三十九 二月 承即位
癸亥九二	四十 二月 承即位

葬菅原伏見陵
皇行諱大足彥忍別尊垂仁天
皇第三子母日葉酢姬廿一歲
為太子八十四歲即位
元年田道間守得舍景於常世
國指海而歸

甲子九三	七 以來均為尚書令
乙丑九四	八 詔賜有罪以命者贖
丙寅九五	九 匈奴遣子入降
丁卯九六	十 廣漢王而有罪自殺國除
戊辰九七	十一 東平王蒼奉朝
己巳九八	十二 大有年
庚午九九	十三 帝弟望王英有罪廢朝
辛未	十四 帝初作壽陵
壬申	十五 東巡至魯諸孔子宅
癸酉	十六 北匈奴寇雲中
甲戌	十七 百官上壽
乙亥	十八 帝崩
丙子	十九 建初章帝 詔廣購飢民
丁丑	二十 大旱 詔三公列非法
戊寅	二十一 立靈氏為皇后
己卯	二十二 諸儒會白虎觀議至察問罪
庚辰	二十三 日蝕 舉直言諫諍
辛巳	二十四 麻池為蜀郡太守
壬午	二十五 廢太子慶王肇為魯王
癸未	二十六 梁球下獄九東平王蒼薨
甲申	二十七 元和賜毛義部均餐各十斛
乙酉	二十八 賜民胎養假 行四分磨
丙戌	二十九 燒香羌反 定漢祀
丁亥	三十 帝崩 太后臨朝
戊子	三十一 章帝下詔太后自殺
己丑	三十二 車師月氏諸國遣使奉獻
庚寅	三十三 竇憲殺鄯善使匈奴大奴之
辛卯	三十四 竇憲伏誅 家由碑下
壬辰	三十五 滅非章子
癸巳	三十六

十七年幸子湯縣丹蒙小野東
望思歸而歌是謂思報歌

甲子九三
乙丑九四
丙寅九五
丁卯九六
戊辰九七
己巳九八
庚午九九
辛未
壬申
癸酉
甲戌
乙亥
丙子
丁丑
戊寅
己卯
庚辰
辛巳
壬午
癸未
甲申
乙酉
丙戌
丁亥
戊子
己丑
庚寅
辛卯
壬辰
癸巳

十六年西域諸國遣子入侍
司都那穆有罪獄死○十七年
遣齊固擊車師降之○十八年
北匈奴擊車師後王安得殺之
遂攻戊校尉耿恭恭擊却之
西域攻及都護陳睦北匈奴
已校尉關寵車師叛與匈奴共
圍取恭詔酒泉太守段彭將兵
救之

章帝諱明帝第五子母賈貴
人○建初元年詔二十石勅農
桑廣選舉順時令理冤獄 闕
罷敗沒段彭擊車師匈奴走車
師匈奴走車師後降車師都護及
師匈奴校尉官班超留屯疏勒
戊巳校尉官班超留屯疏勒
伐哀牢斬其王○二年燒當羌
反○元和元年南巡三年北
伐○元和二年南巡三年北
三年詔嬰兒無親屬及有子不
能養者厚給之 班超斬疏勒
王○章和二年罷燒當鐵騎
遣殺都鄉侯賜太后以惠為軍
騎將軍使擊匈奴以贖罪
和帝諱肇章帝第四子母梁貴
人○永元元年嘗營恩惠匈奴大
破之登燕然山刻石勒功以
憲為大將軍○四年班固死獄
中固嘗著漢書未就詔固女弟

Table with columns for years, months, and historical events. Includes a text block at the top: 日本史曰古事記曰帝尊建德思山垂振女弟財郎女王生和訓奴氣王而本書舊事記仲哀妃及水鏡等諸書皆云帝無男日納后妃之文古事記河載魚河老實故今不取

Table with columns for years, months, and historical events. Includes a text block at the top: 仲哀諱足仲彥日本武尊第二子母曰兩道入姬三十一歲為皇太子

和漢年表

漢

和漢年表

漢

甲午五	立諸國海人及山守部	十	山清為七部統統	三	陸抗卒
乙未六	行幸近江	九	晉郗隆公曹芳卒	二	天册
丙申七	三韓任那入貢	八	加羊枯征南大將軍	一	天竺
丁酉八	百濟人來朝謝罪	七	封功臣為公侯	二	天竺
戊戌九	甘美內訌其兄武內伏誅	六	羊枯入朝 衛雅尚書令	一	天竺
己亥十	作劍池輕池寺	五	大舉兵分道伐民	二	天竺
庚子十一		四	大舉兵分道伐民 羅州郡兵	一	天竺
辛丑十二		三	鮮卑慕容波汗寇官寨	二	天竺
壬寅十三		二	帝親祀南郊	一	天竺
癸卯十四	百濟貢綾衣女	一	故兵王孫皓卒于晉	二	天竺
甲辰十五	百濟王使阿直岐貢良馬	一		一	天竺
乙巳十六	百濟王仁來朝始傳經費	一		一	天竺
丙午十七		一		一	天竺
丁未十八		一		一	天竺
戊申十九	行幸吉野官園權人飲酒	一		一	天竺
己酉二十	漢人率其黨類歸化	一		一	天竺
庚戌二十一		一		一	天竺
辛亥二十二	行幸難波大鴨宮	一		一	天竺
壬子二十三		一		一	天竺
癸丑二十四		一		一	天竺
甲寅二十五		一		一	天竺
乙卯二十六		一		一	天竺
丙辰二十七		一		一	天竺
丁巳二十八		一		一	天竺
戊午二十九		一		一	天竺
己未三十		一		一	天竺
庚申三十一	以官松林野餘材始作琴	一		一	天竺
辛酉三十二		一		一	天竺
壬戌三十三		一		一	天竺
癸亥三十四		一		一	天竺

仁德元年迄神武即位三十一拾十年

四十一年春二月帝崩傳位於皇太子稚即子太子遜而欲讓位於皇兄大鷦鷯尊尊不皆而遜之荒道相讓三年民不知所歸大鷦鷯尊執志益確皇太子知不可奪其志遂自殺

甲子三五	遷使于吳求鑿工女	三	永興親皇后太子	三	元
乙丑三六		二	光熙帝中毒前	二	元
丙寅三七		一	殺清河王覃	一	元
丁卯三八		一	殺琴橋王延	一	元
戊辰三九		一	復長安	一	元
己巳四十		一	復長安	一	元
庚午四一		一	復長安	一	元
辛未四二		一	復長安	一	元
壬申四三		一	復長安	一	元
癸酉四四		一	復長安	一	元
甲戌四五		一	復長安	一	元
乙亥四六		一	復長安	一	元
丙子四七		一	復長安	一	元
丁丑四八		一	復長安	一	元
戊寅四九		一	復長安	一	元
己卯五〇		一	復長安	一	元
庚辰五一		一	復長安	一	元
辛巳五二		一	復長安	一	元
壬午五三		一	復長安	一	元
癸未五四		一	復長安	一	元
甲申五五		一	復長安	一	元
乙酉五六		一	復長安	一	元
丙戌五七		一	復長安	一	元
丁亥五八		一	復長安	一	元
戊子五九		一	復長安	一	元
己丑六〇		一	復長安	一	元
庚寅六一		一	復長安	一	元
辛卯六二		一	復長安	一	元
壬辰六三		一	復長安	一	元
癸巳六四		一	復長安	一	元

神武元年迄

神武元年迄

八十七年春二月仲皇子作亂
 焚太子之宮皇太子出奔于河
 內遣皇太弟瑞齒別皇子誅
 仲皇子
 履中諱來來德別仁德帝之子
 母磐之媛○元年二月即位於
 磐余推櫻宮納葦田里妃為
 皇后

反正諱瑞齒別尊仁德帝第三
 子遷都于河內丹比謂之柴餘
 宮

九蒸諱雄朝津間稚子宿祢反
 正之弟仁德之子

甲午八二	乙未八三	丙申八四	丁酉八五	戊戌八六	己亥八七	庚子八八	辛丑八九	壬寅九〇	癸卯九一	甲辰九二	乙巳九三	丙午九四	丁未九五	戊申九六	己酉九七	庚戌九八	辛亥九九	壬子〇〇	癸丑〇一	甲寅〇二	乙卯〇三	丙辰〇四	丁巳〇五	戊午〇六	己未〇七	庚申〇八	辛酉〇九	壬戌一〇	癸亥一一		
十九前無西無區	二十長星見	二十一張貴妃弒帝	二十二王莽於仲地	二十三張貴妃弒帝	二十四王莽於仲地	二十五王莽於仲地	二十六王莽於仲地	二十七王莽於仲地	二十八王莽於仲地	二十九王莽於仲地	三十王莽於仲地	三十一王莽於仲地	三十二王莽於仲地	三十三王莽於仲地	三十四王莽於仲地	三十五王莽於仲地	三十六王莽於仲地	三十七王莽於仲地	三十八王莽於仲地	三十九王莽於仲地	四十王莽於仲地	四十一王莽於仲地	四十二王莽於仲地	四十三王莽於仲地	四十四王莽於仲地	四十五王莽於仲地	四十六王莽於仲地	四十七王莽於仲地	四十八王莽於仲地	四十九王莽於仲地	五十王莽於仲地
十九前無西無區	二十長星見	二十一張貴妃弒帝	二十二王莽於仲地	二十三張貴妃弒帝	二十四王莽於仲地	二十五王莽於仲地	二十六王莽於仲地	二十七王莽於仲地	二十八王莽於仲地	二十九王莽於仲地	三十王莽於仲地	三十一王莽於仲地	三十二王莽於仲地	三十三王莽於仲地	三十四王莽於仲地	三十五王莽於仲地	三十六王莽於仲地	三十七王莽於仲地	三十八王莽於仲地	三十九王莽於仲地	四十王莽於仲地	四十一王莽於仲地	四十二王莽於仲地	四十三王莽於仲地	四十四王莽於仲地	四十五王莽於仲地	四十六王莽於仲地	四十七王莽於仲地	四十八王莽於仲地	四十九王莽於仲地	五十王莽於仲地

甲子三三	乙丑三四	丙寅三五	丁卯三六	戊辰三七	己巳三八	庚午三九	辛未四〇	壬申四一	癸酉四二	甲戌四三	乙亥四四	丙子四五	丁丑四六	戊寅四七	己卯四八	庚辰四九	辛巳五〇	壬午五一	癸未五二	甲申五三	乙酉五四	丙戌五五	丁亥五六	戊子五七	己丑五八	庚寅五九	辛卯六〇	壬辰六一	癸巳六二
甲子三三	乙丑三四	丙寅三五	丁卯三六	戊辰三七	己巳三八	庚午三九	辛未四〇	壬申四一	癸酉四二	甲戌四三	乙亥四四	丙子四五	丁丑四六	戊寅四七	己卯四八	庚辰四九	辛巳五〇	壬午五一	癸未五二	甲申五三	乙酉五四	丙戌五五	丁亥五六	戊子五七	己丑五八	庚寅五九	辛卯六〇	壬辰六一	癸巳六二
甲子三三	乙丑三四	丙寅三五	丁卯三六	戊辰三七	己巳三八	庚午三九	辛未四〇	壬申四一	癸酉四二	甲戌四三	乙亥四四	丙子四五	丁丑四六	戊寅四七	己卯四八	庚辰四九	辛巳五〇	壬午五一	癸未五二	甲申五三	乙酉五四	丙戌五五	丁亥五六	戊子五七	己丑五八	庚寅五九	辛卯六〇	壬辰六一	癸巳六二

四十二年穴種皇子殺輕太子
 自立

癸巳四二正月天皇崩

十九前無西無區
 二十長星見
 二十一張貴妃弒帝
 二十二王莽於仲地
 二十三張貴妃弒帝
 二十四王莽於仲地
 二十五王莽於仲地
 二十六王莽於仲地
 二十七王莽於仲地
 二十八王莽於仲地
 二十九王莽於仲地
 三十王莽於仲地
 三十一王莽於仲地
 三十二王莽於仲地
 三十三王莽於仲地
 三十四王莽於仲地
 三十五王莽於仲地
 三十六王莽於仲地
 三十七王莽於仲地
 三十八王莽於仲地
 三十九王莽於仲地
 四十王莽於仲地
 四十一王莽於仲地
 四十二王莽於仲地
 四十三王莽於仲地
 四十四王莽於仲地
 四十五王莽於仲地
 四十六王莽於仲地
 四十七王莽於仲地
 四十八王莽於仲地
 四十九王莽於仲地
 五十王莽於仲地

承漢年表

Table with columns for years (甲子 to 癸亥), events (e.g., 羅人清石珍等一百八十人歸化), and reigns (e.g., 仁明諱正良, 嵯峨帝第二子).

嘉祥三年夏四月文德天皇即位... 貞觀元年春三月天皇即位...

Table with columns for years (甲子 to 癸巳), events (e.g., 貞觀元年春三月天皇即位), and reigns (e.g., 貞觀元年春三月天皇即位).

延久元年八月遣平惟盛源家宗待討賊帥致宗于大和國金...

Table with columns for years (甲午, 乙未, etc.), events, and reigns. Includes entries like '甲午二 造一條院', '乙未三 遣源賴義使討安倍賴時', '丙申四 安倍賴時伏誅', '丁酉五 大極殿火', '戊戌六 一條院火', '己亥二 敦貞親王薨', '庚子三 賴義使宗任降賊徒卒之', '辛丑四 賴義使建儲閣八幡宮', '壬寅五 源賴實流于佐渡', '癸卯六 右大臣賴宗薨', '甲辰七 宋帝聖德太子薨', '乙巳八 上幸平等院', '丙午九 四月天皇崩壽四十四', '丁未十 後三條天皇崩壽六十四', '戊申十一 以關白教通為大政大臣', '己酉十二 與賊作亂源賴朝討平之', '庚戌十三 三月天皇崩壽六十二', '辛亥十四 五月天皇崩壽六十二', '壬子十五 白河天皇 諱貞仁 三子', '癸丑十六 甲寅承繼通德 獻山僧於園城寺', '甲寅十七 乙卯二 教通薨 師實為關白', '乙卯三 丁巳承繼教文親王薨 上幸法勝寺', '丙辰四 戊午五 京師火', '丁巳六 庚申四 高麗王病求醫', '戊午七 辛酉六 源賴朝遷都園城寺先覺', '己未八 壬戌七 源賴義卒', '庚申九 辛酉十 富士山火', '壬戌十一 多武峯 夏六月延曆寺僧焚焚夏三 富士山火'

嘉祐五年夏五月召王安石為三司度支判官...

嘉保元年三月關白師實薨以藤原師通為關白...

Table with columns for years (甲子, 乙丑, etc.), events, and reigns. Includes entries like '甲子一 應德中官賢子薨', '乙丑二 皇太子實仁薨', '丙寅三 後拾遺集成 帝傳世于太子', '丁卯四 治通河天皇 諱善仁 幼', '戊辰五 上皇尊 與武衡作亂', '己巳六 天皇加元服', '庚午七 上行幸清水寺', '辛未八 源義家滅武衡家僧', '壬申九 南都僧徒加茂邑', '癸酉十 源義親對皇親', '甲戌十一 源義親陽明門院崩', '乙亥十二 天皇病薨', '丙子十三 天皇落飾而號法皇', '丁丑十四 深德建六條院', '戊寅十五 深德建為聖 女尊為女御', '己卯十六 源賴朝治于佐渡', '庚辰十七 源賴朝治于佐渡', '辛巳十八 以宗仁親王立東京', '壬午十九 流源義親于隱岐', '癸未二十 源義家卒', '甲申二十一 右大臣忠實為關白', '乙酉二十二 七月天皇崩壽七', '丙戌二十三 源義家卒', '丁亥二十四 七月天皇崩壽七', '戊子二十五 源義家卒', '己丑二十六 源義家卒', '庚寅二十七 源義家卒', '辛卯二十八 源義家卒', '壬辰二十九 源義家卒', '癸巳三十 源義家卒'

元豐七年夏五月詔以孟軻配食孔子...

甲午四	乙未元重盛贈金於青玉山	丙申二	丁酉涼皇宮火	戊戌二	己亥三	庚子四	辛丑三	壬寅二	癸卯二	甲辰元	乙巳元	丙午二	丁未三	戊申四	己酉五	庚戌二	辛亥二	壬子三	癸丑四	甲寅五	乙卯六	丙辰七	丁巳八	戊午九	己未十	庚申十一	辛酉十二	壬戌十三	癸亥十四
源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝
源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝

甲午四	乙未元重盛贈金於青玉山	丙申二	丁酉涼皇宮火	戊戌二	己亥三	庚子四	辛丑三	壬寅二	癸卯二	甲辰元	乙巳元	丙午二	丁未三	戊申四	己酉五	庚戌二	辛亥二	壬子三	癸丑四	甲寅五	乙卯六	丙辰七	丁巳八	戊午九	己未十	庚申十一	辛酉十二	壬戌十三	癸亥十四
源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝
源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝	源賴朝

和漢年表
 甲午四
 乙未元重盛贈金於青玉山
 丙申二
 丁酉涼皇宮火
 戊戌二
 己亥三
 庚子四
 辛丑三
 壬寅二
 癸卯二
 甲辰元
 乙巳元
 丙午二
 丁未三
 戊申四
 己酉五
 庚戌二
 辛亥二
 壬子三
 癸丑四
 甲寅五
 乙卯六
 丙辰七
 丁巳八
 戊午九
 己未十
 庚申十一
 辛酉十二
 壬戌十三
 癸亥十四

和漢年表
 甲午四
 乙未元重盛贈金於青玉山
 丙申二
 丁酉涼皇宮火
 戊戌二
 己亥三
 庚子四
 辛丑三
 壬寅二
 癸卯二
 甲辰元
 乙巳元
 丙午二
 丁未三
 戊申四
 己酉五
 庚戌二
 辛亥二
 壬子三
 癸丑四
 甲寅五
 乙卯六
 丙辰七
 丁巳八
 戊午九
 己未十
 庚申十一
 辛酉十二
 壬戌十三
 癸亥十四

十月二十日

秋七月義時遷三上皇於佐
隱土三州。廢皇太子懷成立
皇孫茂仁為皇太子。
後堀河講茂仁高倉帝之孫。後
高倉帝三子。○寬喜三年冬十
月土御門上皇崩于阿波。
○貞永元年冬十二月帝傳
位于皇太子。
四條講秀仁後堀河帝之子。
文曆元年秋八月後堀河上皇
崩。壽二十三。○寬元元年藤
原道家建東福寺。
後嵯峨講邦仁土御門帝第二
子。○寬元二年夏四月北條經
時廢賴經立賴嗣。
後淡草講久仁後嵯峨帝第三
子。

龜山講恒仁後淡草帝之弟

甲午	文曆九條廢帝崩	二	眞德秀卒	三	金臣	六	十二月織木與純於
乙未	藤原家隆卒	三	蒙古入寇	四	元定宗	七	○端平元年春正月金主守緒
丙申	藤原家隆卒	四	蒙古入寇	五	元憲宗	八	傳位於其宗室承麟。五珠以蒙
丁酉	藤原家隆卒	五	蒙古入寇	六	元成宗	九	古兵入蔡州守緒之承麟作
戊戌	藤原家隆卒	六	蒙古入寇	七	元武宗	十	亂兵所殺。金臣。
己亥	藤原家隆卒	七	蒙古入寇	八	元仁宗	十一	
庚子	藤原家隆卒	八	蒙古入寇	十二	元英宗	十二	
辛丑	藤原家隆卒	九	蒙古入寇	十三	元泰定帝	十三	
壬寅	藤原家隆卒	十	蒙古入寇	十四	元天曆帝	十四	
癸卯	藤原家隆卒	十一	蒙古入寇	十五	元順帝	十五	
甲辰	藤原家隆卒	十二	蒙古入寇	十六	元惠宗	十六	
乙巳	藤原家隆卒	十三	蒙古入寇	十七	元文宗	十七	
丙午	藤原家隆卒	十四	蒙古入寇	十八	元明宗	十八	
丁未	藤原家隆卒	十五	蒙古入寇	十九	元武宗	十九	
戊申	藤原家隆卒	十六	蒙古入寇	二十	元仁宗	二十	
己酉	藤原家隆卒	二十一	蒙古入寇	二十一	元英宗	二十一	
庚戌	藤原家隆卒	二十二	蒙古入寇	二十二	元泰定帝	二十二	
辛亥	藤原家隆卒	二十三	蒙古入寇	二十三	元天曆帝	二十三	
壬寅	藤原家隆卒	二十四	蒙古入寇	二十四	元順帝	二十四	
癸卯	藤原家隆卒	二十五	蒙古入寇	二十五	元惠宗	二十五	
甲辰	藤原家隆卒	二十六	蒙古入寇	二十六	元文宗	二十六	
乙巳	藤原家隆卒	二十七	蒙古入寇	二十七	元明宗	二十七	
丙午	藤原家隆卒	二十八	蒙古入寇	二十八	元武宗	二十八	
丁未	藤原家隆卒	二十九	蒙古入寇	二十九	元仁宗	二十九	
戊申	藤原家隆卒	三十	蒙古入寇	三十	元英宗	三十	

後宇多諱世仁龜山帝第一子
○文永十一年冬十月以憲仁
王為皇太子。元寇邊擊却
之。○建治元年夏四月元使社
世忠何文著等來。○弘安二年
夏六月元使范文虎。○四年
夏五月元寇九州遭大風破
船擊之。○六年春正月延曆
寺僧徒犯禁。○七年冬十月
北條貞時殺北條時國。○八年
冬十一月北條貞時殺秋田城
介泰盛。
伏見講源仁後淡草帝第二子
○正應二年夏四月立胤仁王
為皇太子。秋九月北條貞時
逐其主惟康三立久明王。

十月二十日

甲午	正應二年	二	蒙古入寇	三	元憲宗	六	十二月織木與純於
乙未	正應二年	三	蒙古入寇	四	元成宗	七	○端平元年春正月金主守緒
丙申	正應二年	四	蒙古入寇	五	元武宗	八	傳位於其宗室承麟。五珠以蒙
丁酉	正應二年	五	蒙古入寇	六	元仁宗	九	古兵入蔡州守緒之承麟作
戊戌	正應二年	六	蒙古入寇	七	元英宗	十	亂兵所殺。金臣。
己亥	正應二年	七	蒙古入寇	十一	元泰定帝	十一	
庚子	正應二年	八	蒙古入寇	十二	元天曆帝	十二	
辛丑	正應二年	九	蒙古入寇	十三	元順帝	十三	
壬寅	正應二年	十	蒙古入寇	十四	元惠宗	十四	
癸卯	正應二年	十一	蒙古入寇	十五	元文宗	十五	
甲辰	正應二年	十二	蒙古入寇	十六	元明宗	十六	
乙巳	正應二年	十三	蒙古入寇	十七	元武宗	十七	
丙午	正應二年	十四	蒙古入寇	十八	元仁宗	十八	
丁未	正應二年	十五	蒙古入寇	十九	元英宗	十九	
戊申	正應二年	十六	蒙古入寇	二十	元泰定帝	二十	
己酉	正應二年	十七	蒙古入寇	二十一	元天曆帝	二十一	
庚戌	正應二年	十八	蒙古入寇	二十二	元順帝	二十二	
辛亥	正應二年	十九	蒙古入寇	二十三	元惠宗	二十三	
壬寅	正應二年	二十	蒙古入寇	二十四	元文宗	二十四	
癸卯	正應二年	二十一	蒙古入寇	二十五	元明宗	二十五	
甲辰	正應二年	二十二	蒙古入寇	二十六	元武宗	二十六	
乙巳	正應二年	二十三	蒙古入寇	二十七	元仁宗	二十七	
丙午	正應二年	二十四	蒙古入寇	二十八	元英宗	二十八	
丁未	正應二年	二十五	蒙古入寇	二十九	元泰定帝	二十九	
戊申	正應二年	二十六	蒙古入寇	三十	元天曆帝	三十	

和漢年表

Table with columns for year, month, day, and event. Includes entries like '甲午九直多請降', '乙未十師入京', '丙申十一義興死', etc.

兵討錄錄取之 甲子元中

Table with columns for year, month, day, and event. Includes entries like '乙丑三源顯家敗績於丙寅', '丙寅三源顯家敗績於丙寅', etc.

和漢年表

定拔古河城成氏出奔總州千葉。○文明五年春三月山名宗全死。夏六月細川勝元歿。

甲午六	聘于明	善書于朝鮮	十	大學士彭時卒
乙未七			十一	太子祐堯為皇太子
丙申八	東西置散	政長任管領	十二	
丁酉九		政長及顯定和	十三	置西殿 高輅引病歸
戊戌十		義政歸東山	十四	
己亥十一			十五	
庚子十二	兼長攝政		十六	
辛丑十三	僧一休寂		十七	
壬寅十四			十八	罷西殿
癸卯十五			十九	胡居仁卒
甲辰十六		義高叙從一位	二十	
乙巳十七			二十一	
丙午十八		政元任管領	二十二	陣選卒 商輅卒
丁未十九		兩上杉作亂	二十三	帝崩九月太子即位
戊申二十		義尚襲義隆	二十四	治孝宗諱祐德憲宗之子
己酉二十一		義隆薨	二十五	揚守陣卒
庚戌二十二	義政薨	義隆卒	二十六	今天下設預備倉
辛亥二十三			二十七	劉吉罷
壬子二十四			二十八	更中鹽法
癸丑二十五			二十九	
甲寅二十六			三十	
乙卯二十七			三十一	
丙辰二十八			三十二	
丁巳二十九			三十三	
戊午三十			三十四	
己未三十一			三十五	
庚申三十二			三十六	
辛酉三十三			三十七	
壬戌三十四			三十八	
癸亥三十五			三十九	
甲子三十六			四十	

明應元年秋八月將軍義植出師伐六角高賴于近江不克。○二年夏四月將軍義植出師伐島山義豐敗績于河州義植奔周防依大內義興。

後播磨諱勝仁後土御門之太子

甲子三十一	天下大饑	義隆復任	三十七	定太后周氏附廟制
乙丑三十二		盜犯柳營	三十八	下李夢龍旋釋之帝崩
丙寅三十三		義隆卒	三十九	德武宗諱原胤孝宗之子
丁卯三十四			四十	王守仁諱守謙貴州
戊辰三十五			四十一	下李夢陽歸衣獄
己巳三十六			四十二	劉大夏卒 流賊作亂
庚午三十七			四十三	流賊平 馬文昇卒
辛未三十八			四十四	李東陽罷
壬申三十九			四十五	
癸酉四十			四十六	
甲戌四十一			四十七	
乙亥四十二			四十八	
丙子四十三			四十九	
丁丑四十四			五十	
戊寅四十五			五十一	
己卯四十六			五十二	
庚辰四十七			五十三	
辛巳四十八			五十四	
壬午四十九			五十五	
癸未五十			五十六	
甲申五十一			五十七	
乙酉五十二			五十八	
丙戌五十三			五十九	
丁亥五十四			六十	
戊子五十五			六十一	
己丑五十六			六十二	
庚寅五十七			六十三	
辛卯五十八			六十四	
壬辰五十九			六十五	
癸巳六十			六十六	

永正元年冬十月上杉顯定與甲子至天下大饑。○春三月顯定與朝良講和。○夏四月香西又六伏誅。○秋八月又六伏誅。○五年夏四月大內義興奉將軍已巳六義植大舉兵入京將軍義隆奔周防。○五月三好奇雲攻京不克。○七年春二月義植親至申九伐江東不克而還。○秋七月長尾為景弒其主領越後。○八年秋八月細川政賢攻京不克。○十年春二月義植復伐江東不克。○十三年秋七月北條早雲屠三浦城殺道寸父子。○大永元年夏六月細川高國入京立義晴義植出奔淡路。○七年夏六月三好海雲侵犯京師。

後奈良諱知仁後柏原院之皇子。○享祿四年夏六月細川高國與三好海雲戰高國敗績于尼崎。○天文元年春三月細川晴元殺海雲。

正德十四年夏六月宸濠及御史王守仁討平之。○秋八月帝自將擊宸濠。冬十二月帝如南京。冬十月至通州諱宸濠嘉靖元年春正月封王守仁為新建伯。○致佛於濠州。嘉靖九年春二月皇太后親幸北郊。夏六月移祀姚廣孝大興隆寺。冬十月更定孔廟祀典。尊孔子曰至聖先師。

德治	嘉元	延慶	應長	正和	文保	元應	元亨	正中	嘉曆	元德
嘉元四年	德治三年	應長三年	正和三年	文保三年	元應三年	元亨三年	正中三年	嘉曆三年	元德三年	
元弘	正慶	建武	延元	曆應	康永	貞和	觀應	文和	延文	
元弘三年	正慶三年	建武三年	延元三年	曆應三年	康永三年	貞和三年	觀應三年	文和三年	延文三年	
康安	貞治	應安	永和	康曆	永德	至德	嘉慶	康應	明德	
康安三年	貞治三年	應安三年	永和三年	康曆三年	永德三年	至德三年	嘉慶三年	康應三年	明德三年	
應永	正長	永亨	嘉吉	文安	寶德	亨德	康正	長祿	寬正	
應永三年	正長三年	永亨三年	嘉吉三年	文安三年	寶德三年	亨德三年	康正三年	長祿三年	寬正三年	
文正	應仁	文明	長亨	延德	明應	文龜	永正	文龜	大永	
文正三年	應仁三年	文明三年	長亨三年	延德三年	明應三年	文龜三年	永正三年	文龜三年	大永三年	
天文	弘治	永祿	元龜	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	
天文三年	弘治三年	永祿三年	元龜三年	天正三年	文祿三年	慶長三年	元和三年	寬永三年	正保三年	
慶安	承應	明曆	萬治	寬文	延寶	天和	貞享	元祿	寶永	
慶安三年	承應三年	明曆三年	萬治三年	寬文三年	延寶三年	天和三年	貞享三年	元祿三年	寶永三年	
正德	享保	元文	寶保	延享	寬延	寶曆	明和	安永	天明	
正德三年	享保三年	元文三年	寶保三年	延享三年	寬延三年	寶曆三年	明和三年	安永三年	天明三年	
寬政	享和	文化	文政	天保	弘化	嘉永				
寬政三年	享和三年	文化三年	文政三年	天保三年	弘化三年	嘉永三年				

萬曆家内年鑑
 皇朝年號便覽
 萬曆大全
 和漢合運
 年表錄
 紀年錄
 歷代備考
 年報
 掌中年報

葛城宜英堂
梓行藏板
漢歷史書目

大日本小史	二冊	和漢年代即錄	一冊
日本年代記	一冊	年代綱鑑	一冊
本朝編年小史	七冊	年代一覽	一冊
萬曆家内年鑑	一冊	拾遺一覽	一冊
皇朝年號便覽	一冊	年代覽要	一冊
萬曆大全	一冊	編年通覽	一冊
和漢合運	四冊	歷代參考	七冊
年表錄	一冊	歷代要覽	三冊
紀年錄	四冊	歷代要圖	五冊
歷代備考	十冊	逸號年表	一冊
年報	一冊	紀元通考	一冊
掌中年報	一冊	日本年代便覽	一冊

寬政九年丁巳新鐫
 文化二年乙丑改正
 同十三年丙子補正
 天保二年辛卯十月
 校正再鐫

京都 額田正三郎
 江戶 須原茂兵衛
 同 前川六左衛門
 同 西村源六
 同 宗七
 大阪 宜英堂 葛城長兵衛



